

## 第9回 宇部市常盤通りウォークアブル推進協議会 ～会議録～

日時	令和6年2月2日（金）10:00～12:00	
場所	市役所3階 防災情報センター	
出席者	協議会	市長（会長）、岡松委員（欠席）、宋委員、宮崎委員、熊谷委員（欠席）、山田委員、大久保委員（北村委員の代理）、野嶋委員、中野委員、榊原委員、江嶋委員
	事務局（国）	国土交通省 中国地方整備局 山口河川国道事務所 交通対策課：三浦課長、古瀨係長 道路管理第一課：原課長、中井建設専門官、溝口占用係長
	事務局（市）	都市政策部：磯中部長、福田次長、渡辺次長 中心市街地活性化推進課：野村課長、上田副課長、安部係長、野崎、光木
	設計者	戸田風景計画・宇部セントラル設計共同企業体 （戸田芳樹風景計画）古賀代表取締役、堀井

### 議事概要

#### ■社会実験の結果について

（委員）スケートボードのランプの大きさは前回と比べて小さくしたか。

（事務局）ランプは着地音が聞き馴れないので、気にされている方がおられた。ランプの大きさは前回と同じである。ボックス等を前回は設置したが、今回は設置しなかった。今回は、ランプの空洞の閉塞やパイプの中を充填する等の騒音対策を行った。音をゼロにすることは出来ないが、ルール作りを行っていく。

（会長）ウォークアブルでにぎわいが出てくると音は自然とついてくる。どれだけ許容するかを考えていかなければならない。地元自治会や商店街の皆様とお話をしながらバランスを取っていききたい。

（委員）常盤通りは音が反射する傾向があるが、前回よりは音を感じなかった。

（委員）大半の人は活気があって良いと言われる。

（会長）地区の新年互例会でモルックなど高齢者でも遊べるような広場があればまちに足を運ぶのにといい声があった。

（委員）山口大学でアンケート調査を行ったところ、パルクール日本選手権とスペインフィエスタで客層が違うことが分かった。パルクール日本選手権は、家族連れで30代くらいが多かった。スペインフィエスタは年齢層が幅広かった。交通手段については、スペインフィエスタは徒歩や自転車がかった。常盤通りでの回遊性は高かったが、商店街など周辺への回遊性が低かったのが課題である。

（委員）パルクール日本選手権時の車両通行止めについては、看板が早めに設置され、良く周知されていたと思う。

（委員）中高生が停める駐輪場が無い。

（事務局）ボスティビルド前は、中高生や小学生の利用が多かった。駐輪場を確保していきたい。

（委員）3年間社会実験を行い、課題が見えてきて、認知度が上がった。やり続けることが必要である。

#### ■実施設計内容について

実施設計図面（ロール紙等）や素材サンプルを囲んで意見交換

## 説明内容

(全体)

- ・設計の考え方は前回と同様

(キッズラップ前)

- ・芝生の山は人工芝とする。
- ・土管の向きは修正する。
- ・対象年齢が低いので、最小限の駐輪場とする。

(中津瀬神社)

- ・ベンチは中津瀬神社側を見てくつろぐ形
- ・コンテナ、日除けの構造は今後の検討

(西京銀行前)

- ・健康遊具下の舗装はクッション性舗装⇒ブロック状なので交換も簡単
- ・様々な活動が出来る広場状の空間を設ける。
- ・駐輪場の位置は要検討

(ボスティビルド前)

- ・コンクリート舗装は木材に比べ空隙が少ないので、音の響きはある程度抑えられると思う。

## 質疑応答

(委員) 自歩道の幅員を教えてほしい。

(設計者) 7.5m あるが、実際に通行可能な幅は現状と同じ 4.5m である。

(委員) コンセントはあるか。

(設計者) 歩道照明灯に付属している。またコンセント専用のポールも設置する。

(委員) 水道はあるか。

(設計者) 散水栓は複数設置し、立水栓は各エリアに 1 箇所設置する。

(委員) キッズラップ前は、親が見守りで座るところ必要では。

(設計者) 検討する。

(委員) 今回の社会実験では、トランポリンの利用が多かった。コペンハーゲンでは、トランポリンが設置されており良く使われていた。道路面と平坦で飛んでも 1m 程度である。こういったものも出来ると良い。2 人利用できるトランポリンが 4 つ位あると良い。砂場も大事ではあるが管理運営などの観点からどうか。

(委員) 手間がかかるものではある。

(設計者) 検討部会では自然なものに触れることが出来ると良いという意見があった。但し、砂が飛んだりする可能性がある。トランポリンは水たまりや安全領域などの検討が必要である。スペースがあまり広くないため、小さい子ども向けの方が良いと思う。

(会長) 空港公園の砂場も砂が飛ぶことがある。

(委員) 砂場は、アンケート調査でも欲しいという意見があるが、室内の方が良いと思う。

(会長) せせらぎは、せめて 1~2cm は深さがほしい。

(事務局) せせらぎは上水の併用も考えていきたい。

(設計者) 汚れや猫の対策も考えなければならない。

(委員) トイレはどのように考えているか。

(事務局) 中津瀬神社敷地内の公衆トイレは、場所を少し移動して少し規模を大きくする。

(会長) バリアフリーの対応はどのように考えているか。

(設計者) 段差は無い。インターロッキングブロックも大きいものを使用するので、段差が生じにくい。ゴミチップ舗装もそこまで柔らかくはないため、車椅子の方も通行できる。

(会長) 横断歩道部の 2cm の段差はどうにかならないか。

(委員) この段差は、視覚障がい者の方にとっての目安にもなる。

(委員) ポスティビルド前の駐輪場を無くして、宮王子公園の方に出来ないか。駐輪場スペースが広すぎてもったいない。

(会長) この距離を歩くのは難しいという意見があるかもしれない。

(設計者) 配置を検討する。

(委員) 幅員 4.5m の中で、自転車と歩行者の通行帯の舗装の色を変えるなど視覚的に示すことも必要と思う。

(設計者) 景観に配慮しつつ、何となくこちら側を通行という意味では可能と思う。

(委員) 点字ブロックの位置は民地側のオープンテラスとの兼ね合いを考慮してほしい。

(設計者) オープンテラスがある時と無い時とのバランスを考える。

(委員) コンテナのデザインは周囲に調和するようなものが良い。

(事務局) 出来るだけシンプルなものにしていきたいと思っている。

(委員) スケボーは怪我がつきものと思うが、救急車などの緊急車両の乗入れは考慮しているか。

(事務局) 消防と調整していきたい。

## ■ウォークアブル区域について

今回の案を基本として、国と協議を進めていく。

## ■ほこみちの指定について（報告）

(委員) 是非この制度を活用して、持続可能な管理運営を行っていくことが必要である。

(委員) 電力等の地上機器があるが、景観上いかがか。情報板として利活用できないか検討してほしい。

(委員) 地上機器の側面にデジタルサイネージを設置して広告料を徴収している地区もある。ほこみち指定を行っている地区は多くあるので、色々と意見交換すると良い。